

**革新的環境技術シンポジウム 2023～2050 年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～  
ポスターセッション**

**ポスタータイトル一覧**

| グループ名                    | タイトル                                                       |
|--------------------------|------------------------------------------------------------|
| システム研究グループ               | 2050 年カーボンニュートラル達成に向けた対策とコストの評価                            |
|                          | デジタル化による需要側対策による削減貢献の評価 (1/2)                              |
|                          | デジタル化による需要側対策による削減貢献の評価 (2/2)                              |
| バイオ研究グループ                | 研究概要と RITE コア技術：バイオものづくり技術の開発 ～微生物によるバイオマスから燃料・化学品の生産～     |
|                          | バイオものづくり技術：基盤技術開発 ～大型国家プロジェクトにおける開発～                       |
|                          | バイオものづくり技術：社会実装に向けた取り組み ～株式会社化・NEDO 実証事業～                  |
| 化学研究グループ                 | 化学研究グループの CO <sub>2</sub> 分離回収技術 吸収液、分離膜、固体吸収材             |
|                          | Direct Air Capture(DAC) – 万博実証に向けた DAC 技術開発の取り組み –         |
|                          | CCU 技術開発 – CO <sub>2</sub> を原料とした高効率メタノール合成 –              |
|                          | 産業化戦略協議会 – 会員企業と共に CO <sub>2</sub> 分離回収・有効利用技術の更なる活性化を図る – |
|                          | 実ガス試験センター構想 – CO <sub>2</sub> 分離素材開発のための標準評価法の確立、センター整備 –  |
| CO <sub>2</sub> 貯留研究グループ | 光ファイバー方式の温度、ひずみおよび音響測定による CO <sub>2</sub> 挙動モニタリング技術の開発    |
|                          | CO <sub>2</sub> 地中貯留技術事例集 – CCS 事業者への手引書 –                 |
| 企画調査グループ                 | 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) – 第 7 次評価サイクル始動に向けて –                |
|                          | CCS の国際標準化 – CCS の普及をめざして –                                |
| 2025 年大阪・関西万博準備室         | 大阪・関西万博で DAC 実証試験を実施                                       |